



リ

リハビリテーションの役割

当院は脳卒中や神経筋疾患等の患者さんに対し「発症したその日から」の考えのもと、入院早期からリハビリを開始し、以下3部門のリハビリチームで超早期～在宅まで継続した支援を心がけています。

【理学療法：PT】

運動療法とは「運動」によって身体機能を回復させる治療法です。関節の動く範囲が維持・改善されたり、筋力が上がるといった、様々な効果に期待ができます。



【作業療法：OT】

作業療法では様々な「作業活動」を使ってリハビリを行っています。作業とは食事や買い物、洗濯など日常生活の基盤となるものから、外出や仕事、コミュニケーション、手工芸など活動すべてのものを指します。つまり、生活に関わるあらゆる活動を「作業」として位置づけ、これらを活用しながらリハビリを行っています。

【言語聴覚療法：ST】



脳卒中・神経筋疾患により、聞く・話す・読む・書くといった言葉の機能に何らかの障がいが生じる「失語症」、口唇や下などに麻痺が生じ話しにくくなる「構音障害」、飲食物の咀嚼、飲み込みが難くなる「摂食嚥下障害」に対してリハビリ、指導を行います。

教

えて！ガンマナイフ 「適応疾患について」



ガンマナイフは、開頭せずに脳病変部の1点に高精度、高線量を照射して治療する放射線治療器です。当院では1999年よりガンマナイフを導入し積極的に治療を行ってきました。2022年7月には、最新型ガンマナイフICONに更新をしました。今回は、皆さんにガンマナイフをより知って頂けるよう、治療の適応疾患についてご紹介します。

～主な適応疾患～

- ①転移性脳腫瘍 ②髄膜腫 ③聴神経腫瘍 ④三叉神経痛 ⑤脳動静脈奇形などが、一般的に治療の対象としてあげられます。しかし、上記の診断を受けていたとしても脳病変の状況によっては治療の対象とならない場合もありますので、必ず専門の医師の診察を受けるようにしてください。

※診察・治療のお問合せは当院ガンマナイフセンターまで

▶YouTubeにて脳疾患の予防法や治療方法について配信しています。ぜひご覧ください。

- 登録方法 ①お手持ちのスマートフォンのカメラを起動
②右下QRコードを読み取る

または「永富脳神経外科病院」で検索してください。
いいね！チャンネル登録をお願いします。



QRコード

